

研究課題（テーマ）	個別性に寄り添うスキンケア実施に向けた人の角質細胞の硬さを指標とした保湿評価方法の開発		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者			
	看護学部 看護学科	助教	川端 崇広
研究結果の概要			
【背景・目的】 昨今、老若男女問わず、スキンケアの需要は高い。皮膚トラブルの多くは外部環境や心身のストレスによるものが多く、個人差が大きい。個別性に寄り添うスキンケア実施のために、皮膚角質層の保湿機能を精確に評価する方法の確立が重要になる。本研究では、単一角質細胞レベルの保湿機能を評価するための特化した角質細胞の採取方法の新規開発を目的とする。 【方法】 従来のテープストリッピング法と比較しながら角質細胞を壊さず採取するための新しい方法を開発する。論文投稿予定のために、新しく開発した角質の採取方法の詳細の記載は省略する。 【結果】 単一細胞の保湿を評価するための角質の採取方法を開発して再現性を確認できた。 【結論】 本研究は、褥瘡における予防的スキンケアの課題である「スキンケアの実施回数や塗布量のエビデンス構築」だけでなく、「細胞に直接作用して乾燥肌の根本的治癒」にむけて将来的に貢献できる。また、教育研究上における褥瘡予防のスキンケアにおける課題解決のために必要な角質の採取方法を確立した。			
今後の展開			
新しく開発した角質細胞の採取方法を用いて、令和6年度は継続して本研究課題の角質の保湿評価方法の確立に向けて研究を遂行していく。また、新しく開発した角質細胞の採取方法の成果は、看護学の国際誌に今後、投稿していく。			